

みんなで育てるフラワーロード



消防署
医師会病院付近



甘鉄前



九電前



ニッポー前



森田商店前



毎月第2週は

きらきら美化週間



週間

きららちゃん

掲示期間 平成24年11月1日～平成25年3月15日まで

朝倉市では、平成9年から6月と11月の年2回地域のボケットパークや道路沿いの花壇に老人会、市民団体、事業者や市民のみなさんの手で、花の植栽や管理をしていただく「花いっぱい運動」を行ってきました。今年4月からは、アクション協議会の「フラワーロード事業」と連携し、甘木鉄道～三福町信号まで、医師会病院前～金川のミニストップまでの道路を、花いっぱいの「フラワーロード」にする取り組みを進めています。

フラワーロード事業では、新たな事業所、各業種の組合・団体等も加わり、お世話をいたく方の輪が広がりました。また、花壇に管理者の看板も設置しました。看板はアクション協議会で製作し、文字を甘木中学校書道部の生徒さんに書いてもらいました。

夏はボーチュラカのかわいらしい花が咲きました。11月からは、色とりどりのパンジーが、道行く人々の目を楽しませてくれることでしょう。

思いを込めて書きました
甘木中学校書道部

「入部して初めての大仕事で不安でしたが、自然を大切にしてほしいという気持ちが伝わるといいでです」(1年内田侑佳さん)
「一人が花を大切にして、自然に恵まれた環境になってほしいです」(3年高橋枝実さん)

私たちも一生懸命
育てています
朝倉東高校社会福祉部

「一つの花を咲かせるのにも、花植え、草取りと多くの手間がかかることを実感しました」(2年田中彩美さん)
「思った以上に草が生えていました。暑い中の草取りは大変ですが、またきれいな花が咲いてほしいです」
(2年堀内彩さん)



秋吉整骨院前



文化会館付近



甘木駅前
郵便局付近



もとまち信号付近

環境保全活動紹介

朝倉東小学校

地域に根づく 環境学習

シリーズ
第9回



森林組合から説明を受ける



小国の水源地でバックテスト

毎年、朝倉東小学校(校長 水井一記 全校児童:182名)は大福小学校4年生と合同で、地域にぬじみの深い山田堰、堀川用水、三連水車などについて学習した後、筑後川の源流探検を行っています。今年も9月21日に熊本県の小国まで足を運び、水源地や森林を見学しました。

筑後川から田んぼに水を送るために作られた山田堰、堀川、水車群。これらは人々の暮らしとともに育まれ、生きつづけてきました。その源流をたどると、朝倉の水の豊かさ、そしてほかの地域とも水でつながっていることに気づかれます。

参加した4年生の井手はるかさんは「水源地の森林をこれから何をして守ればいいか、考え続けていきたい」。吉田恵くんは「この水源地がきれいでいるのも、ボランティアの人たちや県の係の人たちのおかげなんだなあ」。池田瑞希さんは「水源地がなくなったら大変なことになる。私たちにできることを精一杯したい」と話していました。

この体験の様子は11月3日朝倉生涯学習センターで行われる、朝倉地域文化祭で発表されます。

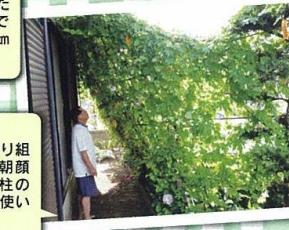
自然のカーテンで省エネの暮らし

環境アクション協議会では、夏に楽しみながら節電とCO2削減を進めるため、グリーンカーテンの写真を募集しました。
その中から、3点を紹介します。

プリチストングリーンランドスケープ株式会社
「みんなで愛情を込めて育て、赤いゴニアと調和した緑豊かな自然のカーテンができました」



空閑桂子さん
「おじいちゃんと子どもたちが育てた六尺ヘッドまであります。長いものだと1m50cmあります」



矢野信幸さん
「10年ほど前から取り組んでいます。今年は朝顔とゴーヤを育て、支柱のかわりに蔓のヘリを使いました」